

マイシティ ライフ

No. 191

2006 冬号

発行 京都市文化市民局 市民生活部 市民総合相談課(市民生活センター)

本誌に関するお問い合わせは ☎075(256)1110

も く じ

- ② ● 環境に及ぼす負担の少ない
ライフスタイルをめざして
～気候ネットワークの取組～
- ④ ● 暮らしの経済
環境との共生を
- ⑤ ● すぐに使えるちえぶくろ
家庭でできるエコライフ
～環境を守るためにできること～
- ⑥ ● = ごみ減量について
考えてみましょう =
- ⑧ ● お知らせ

京都市消費生活基本計画

を 策 定 し ま し た

—消費者権の実現を図り、安心・安全な消費生活を目指して—

京都市では、本年10月に「京都市消費生活基本計画」を策定しました。
この計画は、平成17年10月に施行した「京都市消費生活条例」に
基づき、本市として初めて策定した消費生活に関する基本計画です。



*計画のパンフレットは、市民生活センター、市役所案内所、区役所・支所等で配布しています。
計画は、市民生活センターのホームページにも掲載しています。

5つの基本方針に沿って施策を推進します。
計画の実施期間は平成22年度までの5か年です。

(基本方針)

- ① 安心・安全な消費生活環境の整備
- ② 消費者被害の救済
- ③ 消費者被害の未然防止・拡大防止
のための実効性の確保
- ④ 消費者の自立支援
- ⑤ 豊かにくらすことができる環境の
整備・創造

関係機関等のネットワークと市民生活センターのフットワークにより消費者権の実現を図り、暮らしの安心・安全を推進します。

環境に及ぼす負担の少ない ライフスタイルをめざして

21世紀型の豊かな消費生活社会づくりには、市民の消費生活の根幹に関わり、次世代への影響が大きい環境への配慮に関する取組を進めていくことが必要です。

これらを踏まえ、「京都市消費生活基本計画」の5つ目の基本方針では、「豊かにくらすことができる環境の整備・創造」を掲げました。その中で「環境に配慮した活動の推進」「京都固有の生活文化に根ざした活動の推進」を取組内容とし、持続可能な循環型社会を実現するためには、消費者一人ひとりが、より環境に及ぼす負担の少ないライフスタイルを選択し行動する必要があると定めています。

そこで今号のマイシティライフでは、京都で積極的に地球温暖化防止活動に取り組んでいる市民団体「気候ネットワーク」を訪問し、お聞きしたお話や、家庭で誰でもできるエコライフ情報など、環境特集をお届けしたいと思います。

* 特定非営利活動法人「気候ネットワーク」とは…

1997年12月、京都で温暖化に関する国際会議が開催されました。この会議はCOP3と呼ばれ、京都議定書が採択され、先進国には具体的な数値目標が定められました。気候ネットワークは、この京都会議を成功させるために活動した市民団体「気候フォーラム」の主旨・活動を受け継いで、1998年4月に設立され、1999年11月に特定非営利活動法人として認証されました。温暖化防止のために市民の立場から提言し、活動を起こしていくことを目的に、全国の市民・環境NGO/NPOのネットワークとして、多くの組織・セクターと交流・連携しながら活動を続けています。



～気候ネットワークの取組～

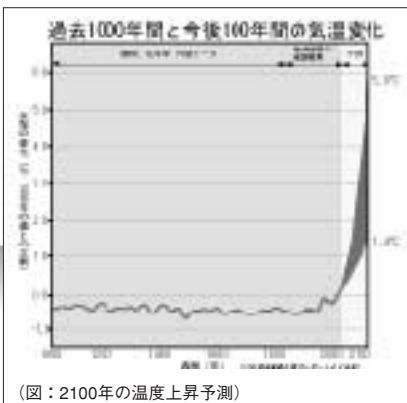
気候ネットワークは、京都(本部)と東京に事務所があり、それぞれに役割分担をしながら活動しています。東京が政策提言やロビー活動を担当しているのに対して、京都では温暖化の影響に関する調査活動や地域の温暖化対策を支援する取組、セミナー・シンポジウムの開催、小学校での温暖化防止教育などに取り組んでいます。

温暖化防止教育では、小学校高学年の児童を対象とした参加型の学習会「お手紙ワークショップ」を行っています。ボランティアが小学校を訪れ、温暖化の影響や原因について説明し、意見共有のためのワークショップを行います。これまでに30以上の小学校で実施し、毎年のように依頼をいただく学校もあるなど大変ご好評頂いています。

また、パートナーシップによる活動では、京のアジェンダ21フォーラムや京都市などと連携し、エアコンや冷蔵庫の省エネ性能を5段階で表示する省エネラベルの取組を実施しています。この取組の成果は国の制度にも反映され、この秋からは全国統一ラベルとなって家電小売店で表示されています。

地球温暖化の影響は…

温暖化の影響は私たちの予想以上のスピードで進んでいます。世界中で、日本でも、そして私たちの身近なところでも温暖化の影響を感じることが増えてきました。京都でもここ100年間で平均気温が約2℃上昇しています。それによって桜の開花やホタルの初見日は早まり、逆に紅葉は遅れるようになっています。



今後の地球の気温上昇に関してIPCC(気候変動に関する政府間パネル)の2001年の報告では、このまま対策を取らずに地

球温暖化が進むと、2100年頃までに最低1.4℃～最大5.8℃上昇すると予測されています。これまでに異常気象とされた年でも平年との差はせいぜ

い±1℃の範囲でした。そのようなことから今後の温度上昇がいかにも大変なことがわかります。

今後の大幅な気温上昇を防ぎ、温暖化の被害を最小限に食い止めるためには、世界全体で効果的な温暖化対策を取っていくことが求められます。

温暖化防止のために

温暖化を引き起こす原因となっている二酸化炭素の排出は、私たちの生活と大きく結びついています。私たちが日常の生活で使用している電気やガス、水道、ガソリンなど、さらには誰もが購入する食料品や衣服、家具などを製造し運ぶためにも多くのエネルギーが使用され、大量の二酸化炭素が排出されています。つまり、大量にエネルギーを消費する私たちのライフスタイルが、地球温暖化を引き起こす原因となっているのです。地球温暖化を防止するためには、エネルギー消費を減らしていくとともに、地球温暖化の原因である二酸化炭素を排出しない自然エネルギーの利用を進めていく必要があります。

環境との共生を

京都大学名誉教授
野村 秀和

「家庭ごみ収集袋を有料化する京都市の改正廃棄物減量適正処理条例が、一日から施行される。…新たな経済的負担で市民のごみ減量を促し、二酸化炭素の発生を抑制するとともに、手数料収入を循環型社会づくりに回すのが目的」と、10月1日付けの『京都新聞』は報じました。

環境への関心の定着

経済が成長し、くらしをめぐる利便性が向上すればするほど、家庭ごみや産業廃棄物が増え、それによる自然環境の破壊が進みました。この状況は、成長を追及する世界の国々でみられるのです。しかし、これに歯止めをかけようとする世界的に広がるエコライフ志向は、地球温暖化対策の「京都議定書」の発信の街ということもあって、京都市民の意識の中にも深く定着しています。

商品・サービス選択の指針

安心・安全が商品・サービス選択の指針として、市民生活の中に広く、深く定着しております。これに加えて、環境に優しい商品・サービスが支持を広げています。環境との共生を目指す企業への共感がこれを支えているのです。市民の企業を選ぶ目が成熟してきていることを感じます。家庭でのくらしの中でも、無駄なエネルギーを使わない、ごみの減量に気を配るなど、わたし

たちにも出来ることが案外あるのではないのでしょうか。一人の努力は小さいかもしれませんが、まともると大きな効果をあげることになるのです。

もったいない

始末の文化の伝統を持つ京都は、個人としてのコスト意識に加えて、街として、社会としてのコスト意識が庶民のくらしの中に根づいています。生活の知恵ともいえるこのような素材を大切にしながら、美しさも忘れない京都のくらしの文化は、京都の長い歴史の中で育まれてきたものです。持続可能なくらしの経済はこのような始末の文化に支えられているのです。



ご存知ですか？

家庭でできるエコライフ

～環境を守るためにできること～

生活の無駄を省く

省エネというと、どうもケチくさいと感じられる方も多いようですが、温暖化を進める上では大変重要な取組です。

スイッチが入っていないなくてもコンセントが入っていることで使われる待機電力というものがあります。この**待機電力が家庭の消費電力量に占める割合は10%**近くにもなります。あまり使用しない機器などは、コンセントから抜くことで待機電力を減らすようにしましょう。



電子ジャーやポットなどの保温機能を長時間使用しないで電子レンジや魔法瓶を活用することで、保温に必要なエネルギーを削減することが可能です。

また、エコタップや孫の手スイッチ、窓ガラスに貼り付ける断熱フィルムなど、さまざまな省エネグッズを活用することで気軽に楽しく省エネに取り組むことが可能になります。

環境のことも考えて 選択しよう

製品を選択することは私たち消費者の権利であり、責任でもあります。環境に配慮した製品を選択することが、地球温暖化をはじめとする環境問題の解決には欠かせません。例えば白熱電球を電球形蛍光灯ランプに替えると、消費電力は約1/4、寿命は6倍になります。電球形蛍光灯ランプは白熱電球より高価ですが、寿命が長いので、3年間では白熱電球よりも経済的で、交換の回数も少なくてすみます。同じようにエアコンや冷蔵庫なども、省エネ性能を考えて選ぶことで、逆に得をすることもあります。お店の人に相談したり省エネラベルを参考に選びましょう。

家庭でできる エコライフチェック

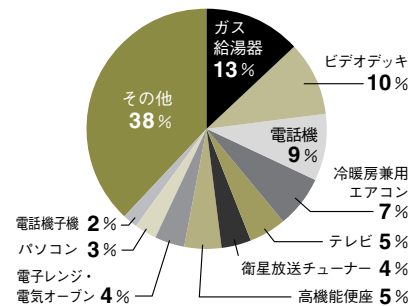
エコライフをはじめるとあたって、「京都市エコライフチェック」で、あなたの生活を診断してみましょう。チェックシートをもとに診断を行い、平均世帯との光熱水費の比較や各家庭にあったアドバイスを書いた診断書をお返しします。診断書をもとに家族みんなで工夫して、エコライフに取り組みましょう。(写真：京都市家計のダイエット)

(協力：気候ネットワーク)



家庭における待機電力の内訳

待機時消費電力量機器別構成比の内訳



※待機時消費電力原単位に、機器使用実態調査結果の台数保有率と発生時間を乗じて、家庭における待機時消費電力量を推計。

(出典：省エネルギーセンター平成17年度待機時消費電力調査報告書)

特
集

= ごみ減量について 考えてみましょう =

地球温暖化防止のためには、
持続可能な循環型社会の実現
に向け、消費者一人ひとりが、
より環境に及ぼす負荷の少な
いライフスタイルを選択し、
行動する必要があります。

平成18年10月からスター
トした「家庭ごみ有料指定袋
制」をきっかけに、これまで
の行動を見直してみましょう。

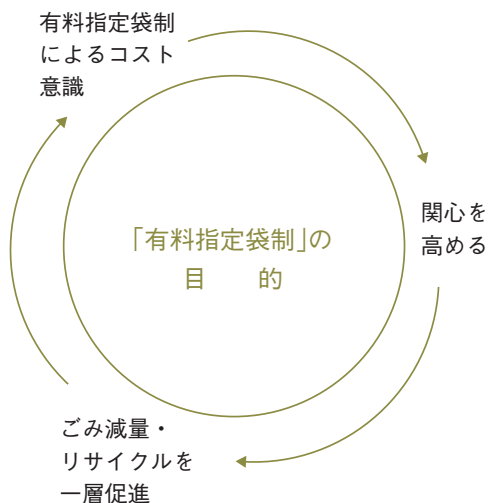


ごみダイエットのきっかけとして

「有料指定袋制」とは、市民の皆さんが家庭ごみ及
び資源ごみを出される際、市指定の有料指定袋を使っ
ていただく制度です。

「有料指定袋制」の目的は、ごみを出すことに対し
てコスト意識をもっていただくことにより、ごみへ
の関心を高め、ごみ減量・リサイクルを一層促進し
ようとするものです。

特に、「脱温暖化社会」「循環型社会」の実現のため
には、大量生産、大量消費、大量廃棄に象徴される
社会経済活動を見直して変えることが必要であり、「有
料指定袋制」はそのきっかけとなるものです。ごみダ
イエットは、限りある資源を守るだけでなく、地球
温暖化防止にもつながります。



<ごみの減らし方> ひと手間かけることが大切

毎日の生活の中で、できることはたくさんあります。

ごみが一気に減るような「奇策」「王道」はありません。皆さん一人ひとりに、暮らしの中で、ごみのことに少しでも目を向けていただき、ひと手間かけていただくことが、一番ごみ減量につながります。

★ ☆ 買い物時にひと工夫 ☆ ★

次に暮らしの中で最も身近な買い物時の工夫をとりあげます。



買い物メモを作る



買い物に出かける前に、買う必要のあるものが何かをきちんとチェックしましょう。

無駄な買い物をなるべく避けるようにするだけでも、ごみの発生を少なくすることにつながります。



マイバッグを持参しましょう。出かけるときにマイバッグをた

たんで持っていれば、突然の買い物でもレジ袋をもらわずに済みます。



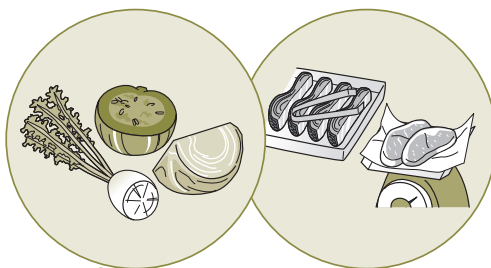
店頭回収を利用しましょう。プラスチック製のトレイや牛乳パックなど、店頭回収されているものをためておき、買

物の時に持っていきましょう。



詰め替え用商品を選びましょ

う。詰め替え用商品ならかさばる容器を減らすことができます。



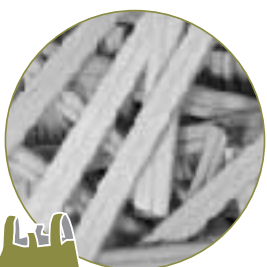
包装材の少ないもの、無駄の出ないものを選びましょ

う。食料品なら、ばら売り・量り売りの利用を。また、少人数世帯にはカット野菜も良いでしょう。



飲み物はできるだけリターナブル

瓶(ビール瓶や一升瓶のようにくり返し使用可能な瓶)を選びましょ



余分なものは持ち帰らないようにしましょう。レジ袋や割り箸は、一種の使い捨て用品です。マイバッグや自分のお箸をなるべく使うようにしましょう。

活用しましょう! 「京のごみ減量事典」

本号で紹介した取組以外にも、ごみ減量のために使える情報が満載です。

※家庭ごみ有料指定袋制の開始時に配布されたほか、環境局 循環企画課(TEL 222-4091)のホームページ(<http://www.city.kyoto.jp/kankyo/recycle/>)に掲載されています。



市民生活センター 相談のご案内

消費生活相談

いずれの相談も
無料です。
お気軽にご相談
ください。

(訪問販売やキャッチセールスなどで困ったときなど)

TEL 256-0800

月～金 午前9時～正午
午後1時～4時

市民生活に関する相談
(市政に関する問合せなど)

TEL 256-2007

月～金

交通事故相談
(示談の方法・賠償額の算定など)

TEL 256-2140

午前9時～正午
午後1時～5時

法律相談 (弁護士による相談。面談のみ)

TEL 256-2007

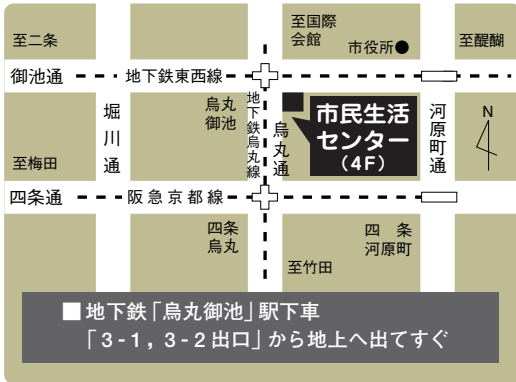
月～金
午後1時30分～4時

先着順15名

当日午前9時から整理券配布
水曜日のみ予約制(電話可)

第2・4水
午後6時～8時

予約制12名
(電話可)



消費者対象の教室、出前講座などの事業や、センターのご案内

TEL 256-1110

FAX 256-0801

住所

〒604-8186 中京区烏丸御池東南角
アーバネックス御池ビル西館4階

ホームページ

<http://www.city.kyoto.jp/bunshi/soudan/>

休所日

土、日、祝日、年末年始(12月29日～1月3日)

週末の緊急時の消費生活相談は

クーリングオフ
TEL 257-9002

※電話相談のみ 受付:土・日(年末年始除く)午前10時～午後4時

市民生活センターのホームページをリニューアルしました!

市民の皆さんに、
消費生活情報をこれまで以上に
迅速にお伝えします!

- ◎毎月、消費生活相談等に関する情報「京・くらしの安心安全情報」を発信します。
- ◎京都市消費生活基本計画の内容や推進状況等を紹介します。

- ◎日々巧妙化する悪質商法の手口等について、地域や学校、施設の集まりにお伺いして説明する「出前講座」等、消費生活に関する事業について、これまで以上に詳しく紹介します。
- より情報を探しやすいホームページにするため、レイアウトも一新しましたので、是非ご活用下さい!



回覧
してください